



追手門舞台表現  
STEP

# 追手門学院大学 舞台表現プロジェクトSTEP 第十三回公演

演劇公演

# かみひとえ

『いいことば』  
って、  
なんだろう

演出 三輪華蓮

脚本 宇野桃奈

追手門学院大学 安威キャンパス  
学生会館 2階展示室

**6.27 / 6.30**

主催 追手門学院大学社会学部

チケット予約



お問い合わせ

TEL 072-641-9159

Mail otemon.step.f1@gmail.com

X (旧Twitter) @otemon\_step

Instagram @otemon\_step

# 目次

あらすじ	3
『かみひとえ』について	4
『かみひとえ』で扱う社会問題について	6
公演詳細	7
舞台表現プロジェクトSTEPについて	9
過去の作品	10
STEP活動略歴	12



# あらすじ

放課後。

部室に集まり楽しく過ごす優波・雫・春真。

彼らには高校生活最大の危機が訪れていた。

書道部として功績を挙げないと廃部になってしまうのだ。

大会の書道パフォーマンスで使う「言葉」を考える三人。

そこに廃部をのぞむ人たちからの嫌がらせが。

さらに何者かが雫を…

— 『いいことば』ってなんだろう —

優しさは相手に届かなければ意味がない



# 今回の作品『かみひとえ』について

STEPでは近年、社会問題をテーマとした作品を多く制作してきた。今回上演する『かみひとえ』は、追手門学院大学心理学部3年生の宇野桃奈が自主制作した作品である。

廃部の危機に至っている書道部を舞台に、言葉の持つ影響力や誹謗中傷に焦点を当てた物語となっている。

## 演出コメント

大学で演劇を始め、役者として舞台に立ってきた経験を糧に今回初めて演出を担当させていただきます。

自分が座組を纏める立場に付き、他部署の様に初心者を引っ張ってくれる先輩もいない中で手探りの毎日ですが、頼りになる後輩たちに沢山の意見やアイデアをもらって、より良い舞台にする為にみんなで切磋琢磨しています。

脚本、演出、その他全ての部署を学生が担当する学生演劇ならではの空気感をお楽しみください。

2024年5月  
心理学部4年生 三輪華蓮

# この脚本を書こうと思った理由

作品についてずっと疑問に思ってきたことがあります。  
どうして人は、噂話をするのだろうか。  
どうして人は、根拠のない情報を鵜呑みにしてしまうのだろうか。

特に、SNSが生活の一部になっている今、集団で誰かを責め立てていたり、憶測で話が盛り上がっていたり、妙な決めつけて誰かを励ましたり卑下したりするのを毎日必ずと言っていいほど見かけます。

理想論で綺麗事ではあるけれど、相手の背景を想像する努力を誰もがしていける世界になればいいなと思います。

「いい言葉ってなんだろう」  
そんなテーマで今回の脚本を務めさせていただきました。

この公演が、言葉について改めて考えるきっかけになりますと幸いです。

心理学部3年生 宇野桃奈

# 今作品で扱う社会問題について

## 誹謗中傷について

### ○誹謗中傷とは？

悪口や根拠のない嘘等を言って、他人を傷つけたりする行為。インターネット上で誹謗中傷の書き込みをすれば、内容によっては名誉棄損罪や侮辱罪等の刑事責任を問われる場合もある。

### ○よくある相談

SNSや掲示板サイトに、自分の名前、住所、写真等の個人情報が掲載されて誹謗中傷された

掲示板サイトなどに名前や電話番号、メールアドレスを掲載されて、知らない人からいたずら電話やメール等が来るようになった

### ○誹謗中傷によって起きた事件の例

2020年 女子プロレスラーの木村花さんの自殺

「テラスハウス」（フジテレビ）出演時の言動を巡り、SNSで誹謗中傷を受けていた

2020年には20代の男性、2021年には30代の男性が逮捕されているこの事件の影響で、総務省や法務省は侮辱罪の厳罰化や制度見直しを検討しを検討し、2022年には改正刑法が成立している

### ○引用

①警視庁 インターネット上の誹謗中傷等への対応

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/countermeasures/defamation.html>

②SNSによる誹謗中傷事例

<https://brandcloud.co.jp/column/security/hibou-chusyo/sns-false-accusation/>



①



②

# 公演詳細

## 【第13回公演『かみひとえ』】

追手門学院大学 舞台表現プロジェクトSTEP  
第13回公演『かみひとえ』

脚本：宇野桃奈  
演出：三輪華蓮

### 【公演日時/会場】

○追手門学院大学 安威キャンパス学生会館2階展示室  
2024年6月27日（木）～ 6月30日（日） 4ステージ  
27日（木）/ 28日（金） 18:15開演  
29日（土）/ 30日（日） 14:00開演

### 【アクセス】

〒567-8502  
大阪府茨木市西安威2丁目1番5号  
→JR茨木駅・阪急茨木市駅から直通バスで約20分

### 出演者・スタッフ

#### 【キャスト】

阿部栞奈 芦田優来 田村幸 草竹優磨 高山青空 若林真生 谷畑美有

#### 【スタッフ】

〈演出助手〉宇野桃奈 林愛夏  
〈舞台監督〉舛田和香奈 中山太陽  
〈舞台美術〉大槻優愛 西上和奏 鈴木七夕  
〈宣伝美術〉西上和奏 谷畑美有  
〈照明〉川畑明日翔  
〈音響〉高山青空 中山太陽 舛田和香奈  
〈衣装〉鈴木瑛梨奈 三輪華蓮  
〈小道具〉松原弘起 三輪華蓮  
〈映像〉林愛夏 芦田優来  
〈SNS〉林愛夏 鈴木瑛梨奈  
〈制作〉若林真生 長谷川莓花 宇野桃奈 林愛夏 鈴木瑛梨奈 谷畑美有  
田村幸 青山明香里 問屋哲志 吉田陽希

〈監修〉横田修（タテヨコ企画/追手門学院大学社会学部教授）

# STEPとは

追手門学院大学社会学部舞台表現プロジェクト（Stage Expression Project）の略称。

学生とプロが手を組み一般の観客の鑑賞に堪える舞台芸術作品の制作を目指す。専門的な活動を通して、自身の関心や方向性を探ることが目的である。社会学部のプロジェクトではあるが、全ての学部の学生が参加可能となっている。毎年春と秋に学内公演を行っており、秋には県外へ遠征公演を行っている。

昨年度はクラウドファンディングのほか、オリジナル作品を創作し上演した。プロの技術を間近で吸収しながら舞台を作り、演劇をつくりあげる。参加学生は50名（2024年5月現在）

## STEPの学び

身近にありながら、気付いていなかったり、深く知らなかったりする社会問題が多くある。それらを演劇の題材として切り取り、実際の取材などを通して実感し、理解に深めることができる。

また、演劇に関して未経験者も多く所属しているが、学生同士で教え合って運営している。そのため、企画力を身につけながら、演技面だけでなく、裏方としての技術も身につけることができる。



# 過去の作品

2023年STEP 12月1日・2日・3日 動員数150人  
12月24日（静岡県藤枝市遠征公演） 17人  
第12回公演 『Home』

この物語では、本来であれば大人が担う家事や家族の世話を子供が行っている状態のヤングケアラーや、ご近所同士の交流の減少によって増加している待機児童の問題を、作者の体験に基づいて描いている。

公演を行うにあたって、茨木市内の地域包括ケアセンターに取材を行い、取材で学んだことをもとにして冊子を制作した。



2023年STEP 6月29日・30日・7月1日  
第11回公演 『あゆみ』

この物語は、一人の人間の自分史（人生、生涯、生活、生き方）を演技で紡いだライフストーリーである。

脚本は劇作家・柴幸男（しば ゆきお）。『あゆみ』は2008年に劇団「ままごと」で初演以降、様々な演劇団体で上演されてきた。舞台の幅を超えて登場人物が移動し続け、役者は移動を引き継ぐことで役柄も引き継ぐ。観客が360度舞台の世界を感じられるよう、客席を取り囲む演出をした。真っ白なセットの中、ブロックをシーンごとに様々な物に見立てて変化させることで、今まで挑戦したことのない抽象的な舞台を作り上げ



<https://mamagoto.org/>

引用：ままごと HP



## 2022年11月 STEP第10回公演 『ボクモ、僕も』



物語は、子ども食堂「ボクモ」で利用者の家庭環境、食堂の財政難、地域の人々との関係など、度重なる問題にかかわり、子ども食堂の役割や意味について考えるものとなっている。

公演にあたり、子ども食堂「子民家よってこ」でのボランティア活動に参加。茨木市内にあるいくつかの子ども食堂や遠征先である藤枝市の子ども食堂に取材を行い、活動状況をまとめて啓発展示を行った。

朝日新聞 子ども食堂で得た「気づき」 2022年11月22日（朝刊）

### 顧問紹介



## 横田修

追手門学院大学社会学部教授。劇団タテヨコ企画主宰（作・演出担当）

筑波大学卒。1999年、東京にて劇団結成。2015年に大阪へ居を移すと東京・大阪の二都市ツアーを開始。近年の作品に『三人の姉妹たち』（2019）、『谷繁』（2019）、『誰かの町』（2021）、『家族のカタチ』（2022）、『ゾウとパンダと見えない虹のはなし』（2022）、『谷繁2』（2023）がある。劇団外では市民参加演劇『土に寝ころぶ女たち』（2018）の作・演出ほか、表現者工房（生野区寺田町）における市民参加企画に数多く関わる。

大阪現代舞台芸術協会（DIVE）理事。

# STEP活動略歴

2016年11月 旗揚げ公演『谷繁』（第1回公演）

脚本・演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数158名

2017年5月 STEP Presents Welcome Stage! 『忠臣蔵～STEP～』（第2回公演）

原作：平田オリザ『忠臣蔵0L編』

脚本・演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数161名

2017年11月 学園祭公演『宇宙ノ正体 メロス編』（第3回公演）

脚本・演出：横田修

2018年5月 STEP Presents Welcome Stage2! 『幕が上がる』

脚本：平田オリザ

演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数190名

2018年10月 第1回チャレンジ公演『サンタクロース会議』（第5回）

脚本：平田オリザ

演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数183名

於：白子ノ劇場（静岡県） 動員数50名

2019年2月 STEP全面協力公演『となりのキッドナップ』（番外公演）

脚本：辻野正樹

演出：川口海渡

於：茨木市立北幼稚園

2019年11月 STEP第7回公演『夏至の夜の夢』

原作：W・シェイクスピア「夏の夜の夢」

脚本・演出：加藤桃佳

於：追手門学院大学 動員数143名

2019年12月 八王子学生演劇祭参加作品 『夏至の夜の夢』

原作：W・シェイクスピア 「夏の夜の夢」

脚本・演出：加藤桃佳

於：いちょうホール（東京都） 動員数70名

2020年11月 STEP第8回公演 『あいまい宝島』

脚本：長谷基弘（劇団桃唄309）

演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数120名（30名限定、  
4ステージ）

11月13日配信 <https://youtu.be/2Yn33Y-7-bA>

11月14日配信 <https://youtu.be/AlhTndfk8PY>



左：13日



右：14日

2022年6月 STEP第9回公演 『鼻曲がりと言われた少年』

脚本：川島武士（社会学部生）

演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数114名（全3ステージ）

2022年11月 STEP第10回公演 『ボクモ、僕も』

脚本：田中育（心理学部生） 演出：石橋凜

於：追手門学院大学 動員数120名（全3ステージ）

於：白子ノ劇場（静岡県） 動員数約30名

2023年6月 STEP第11回公演 『あゆみ』

脚本：柴幸男（劇団ままごと） 演出：中澤ひかる

於：追手門学院大学 動員数113名（全3ステージ）

2023年12月 STEP第12回公演 『Home』

脚本：菅野咲月（経済学部生） 演出：横田修

於：追手門学院大学 動員数〇名（全3ステージ）

於：白子ノ劇場（静岡県） 動員数約〇名

# ご担当者様

大変お世話になっております。

本公演に関するお問い合わせなどございましたら、

下記の問い合わせ先までご連絡ください。

何かございましたらこちらから伺いまいしてご説明申し上げます。

よろしく願いいたします。

お問い合わせ

STEP制作部

TEL：072-641-9159

[MAIL:otemon.step.fl@gmail.com](mailto:otemon.step.fl@gmail.com)

〒567-8502

大阪府茨木市西安威2丁目1-15

追手門学院大学 STEP（宛）